



朝五中だより

令和 2年3月 2日発行
朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸 1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>
TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail 5chuu@asaka-c.ed.jp

「一步を踏み出す勇氣」

校長 原口 憲充

3月弥生、躍動の季節です。冷たい風が少しずつ暖かい風に変わりはじめ、花々のつぼみの膨らみに春の訪れを感じるようになりました。そして、いよいよ11日後には卒業式を迎えます。3年生にとって最後の授業である「卒業式」、朝霞第五中学校を巣立つに当たりしっかりと準備をしてほしいと願います。

さて先日読んだ本の中に、アメリカの高齢者に対して実施したアンケートがあり、とても興味深い内容でしたので紹介します。それは、ご高齢の方に「人生で一番後悔したことは何ですか?」というアンケートでした。その結果は以外にも「やったこと」に対しての後悔ではなく、「やらなかったこと」に後悔していることが多かったそうです。どうやら、人は「やりたいことがあったけれど、それをやらなかったこと」に後悔する傾向があるようです。行動したことに対しては、結果がどうであれ、人の心は満たされるのでしょうか、心が求めていたのに体験できなかったことは、人生の終わりに後悔となって残ってしまうようです。

しかし、何かやる時、いつも頭のかた隅にあるものが「失敗したらどうしよう」という不安です。何か行動を起こせば、失敗する可能性も当然出てきます。そして、人は失敗が怖くなってチャレンジすることをやめてしまうことが多くあります。

かつて南アフリカの大統領で、現地の人々の人権を守り、差別をなくすために人生をかけたネルソン=マンデラ氏は、「生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。」と話していました。これは「転ぶのは前へ進んでいること」、「壁にぶつかるのは努力していること」そして「失敗するのは挑戦していること」を示し、人は「あきらめずに、自分の力を信じて何度もチャレンジする勇氣を持ち続ければ、必ず目標や夢に近づく」ということを伝えています。

「夢を実現する五中生」である君たちは、このことをどのように受け止め、どのようにその一步を踏み出すのでしょうか。誰もが皆、失敗したくありません。でも、その失敗も自分に必要な経験だとすれば、失敗を越えて手にする「栄光や喜び」は、より一層大きなものになるでしょう。どうか恐れることなく勇氣をもって前進してください。行動し体験してください。そしてどんな結果も喜びにつなげる強さを持ち続けてください。先生方はそんな君たちを応援しています。

最後となりますが、保護者並びに地域の皆様、この1年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝しております。行き届かないところも多々あったと思いますが、皆様の支えとお力添えがあったからこそ今年度も無事終えることができました。本当にありがとうございました。

令和元年度学校評価アンケート

【生徒集計】 1年 121名 2年 108名 3年 114名 【保護者集計】 1年 71名 2年 87名 3年 45名

※表内の数字は学年別の%表示です

各質問に対して(1:とてもそう思う 2:そう思う 3:あまり思わない 4:まったく思わない)

No.	評価項目	1学年				2学年				3学年				No.	評価項目	1学年				2学年				3学年			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校生活が充実している。	44.6	47.9	5.8	1.7	47.2	44.4	7.4	0.9	37.7	59.6	1.8	0.9	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	26.1	65.2	8.7	0.0	27.6	66.7	4.6	1.1	35.6	57.8	6.7	0.0
2	安全や事故防止に取り組んでいる。	37.5	57.5	4.2	0.8	47.2	46.3	3.7	2.8	47.4	48.2	2.6	1.8	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理に取り組んでいる。	26.8	62.0	9.9	1.4	25.3	64.4	9.2	1.1	35.6	62.2	2.2	0.0
3	基本的な学習内容をていねいに教えている。	49.6	47.9	2.5	0.0	46.3	48.1	3.7	1.9	46.5	47.4	5.3	0.9	3	本校の生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	14.1	67.6	16.9	1.4	13.8	71.3	13.8	1.1	20.0	71.1	8.9	0.0
4	授業をわかりやすく工夫している。	41.3	52.9	5.8	0.0	42.6	52.8	2.8	1.9	50.0	42.1	7.0	0.9	4	学校は、学力向上をめざし、生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	17.1	64.3	17.1	1.4	16.1	67.8	13.8	2.3	20.0	73.3	6.7	0.0
5	集団生活のルールやマナーが守られている。	34.7	56.2	9.1	0.0	38.0	56.5	3.7	1.9	43.9	51.8	4.4	0.0	5	本校の生徒は、集団生活のルールやマナーに基づいた「規律ある態度」を身に付けている。	25.7	65.7	8.6	0.0	32.2	58.6	9.2	0.0	40.0	53.3	6.7	0.0
6	よりよい生活習慣づくりをめざしている。	47.1	49.6	3.3	0.0	50.9	43.5	3.7	1.9	46.5	49.1	4.4	0.0	6	学校は、「規律ある態度」の指導の工夫改善に努めている。	15.9	76.8	7.2	0.0	27.9	61.6	10.5	0.0	35.6	60.0	4.4	0.0
7	体育の授業や部活動、外遊びなどの運動に積極的に取り組んでいる。	49.6	42.1	8.3	0.0	44.4	48.1	4.6	2.8	51.8	40.4	7.0	0.9	7	本校の生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	28.2	57.7	11.3	2.8	21.8	69.0	9.2	0.0	28.9	60.0	11.1	0.0
8	より健康でたくましい身体づくりをめざしている。	37.2	53.7	9.1	0.0	42.1	52.3	3.7	1.9	50.0	43.9	5.3	0.9	8	学校は、生徒の健康に配慮し、体力向上に努めている。	22.5	69.0	7.0	1.4	18.4	71.3	10.3	0.0	24.4	71.1	4.4	0.0
9	地域の行事や体験活動に積極的に取り組んでいる。	42.1	47.1	9.9	0.8	43.4	48.1	6.6	1.9	43.0	47.4	8.8	0.9	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	22.9	68.6	8.6	0.0	24.1	65.5	9.2	1.1	40.0	55.6	4.4	0.0
10	保護者や地域が学校に協力している。	32.2	59.5	7.4	0.8	34.9	54.7	9.4	0.9	36.0	54.4	7.9	1.8	10	家庭や地域は、学校と協力して生徒の安全指導、健全育成を進めている。	17.1	70.0	11.4	1.4	22.1	72.1	5.8	0.0	28.9	66.7	4.4	0.0

令和元年度朝霞市学校評価(共通項目)評価書

注	No.	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え(本校の課題と改善策 ■=課題 ○=改善策)	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A (3.5)	<p>■学校評価保護者アンケートについて質問項目がわかりづらく回答のしようがないという指摘が毎年のようにある。</p> <p>○数年前に同様な意見より質問項目に補足文章を付け加えたが、さらに、回答しやすいように補足文章を見直すようにする。</p> <p>■不登校生徒の評価の在り方について</p> <p>○令和2年度前半を目安に本校の基本方針を企画委員会で原案を作成し、校内研修で検討、令和3年度より実施の方向で進めるようにする。</p> <p>■卒業アルバムの選定について</p> <p>○令和2年度前半に企画委員会で卒業アルバム業者選定の原案を作成し、令和3年度から実施するようにする。</p>	A (3.8)	<p>・学校経営方針が明確になっているが、不登校生との評価のあき方、保護者アンケートの質問項目がわかりづらい等の課題がある。</p> <p>・進んで学習ができるように授業内容や課題等を各教科工夫して取り組み、今年度から午後はジャージ着用となり以前より外で体を動かす生徒が増えている。</p> <p>・夜遅くまで残って仕事をしているのがわかるので感心している。</p>
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	A (3.5)	<p>■現行の12月の下校時刻では既に真っ暗になっている。</p> <p>○保護者アンケートにも下校時刻に関する意見がみられました。昼休み清掃や清掃時間の短縮により時間を早める等の案があったが、部活動時間の確保を考えた上で、現状維持と考えました。ただし、下校時刻をきちんと守り、寄り道等をせず下校する指導をすべての部活動で徹底するようにする。</p> <p>■自転車通学について、ヘルメット着用義務違反や危険運転の生徒への指導</p> <p>○自転車通学を実施している他校の資料を参考に「自転車通学に関する規定」を作成する。本校安全教育の「自転車通学のきまり」をもとに違反に対する許可の停止等を新たに組み込み、令和2年度から実施するようにする。</p> <p>■災害時の職員の対応</p> <p>○企画委員会で危機管理マニュアルを見直す。</p>	A (3.8)	<p>・初めての体験であった昨年の台風19号時の対応は的確ですばらしかった。</p> <p>・自転車通学者のヘルメット着用や下校時の見守り等ができる範囲の中で配慮されていると思う。</p> <p>・小さな出来事にも全体会などで話をしていたり災害時の対応も適切だったと思う。</p>
基礎学力の定着	3	本校の生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	A (3.4)	<p>■支援を要する生徒への学習指導について</p> <p>○ステップアップ教室、チャレンジ学習、授業とのリンク</p> <p>○基礎的な内容(例 数学の方程式や英語のアルファベットなど)を教科だけでなく、学年全体で強化する。</p>	A (3.8)	<p>・埼玉県学力・学習状況調査において全学年で平均正答率が県平均と比較して全てで高いレベルにある。</p> <p>・学力の個人差はあるが、全体的な学力は年々向上している。</p>
	4	学校は、学力向上をめざし、生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A (3.5)	<p>■生徒の実態に応じた指導・評価について</p> <p>○昨年度まで研究をすすめてきた「主体的・対話的で深い学びのある学習指導のあり方」を受け、本年度は学校研究を「自分の考えを実現し、共に学びあえる生徒の育成～自己肯定感を高める指導の工夫」とし、各教科等で実践を積み重ねています。</p> <p>○保護者会等で学習方法について共に考えるようにする。</p>	A (4.0)	<p>・教職員による学習評価が圧倒的に高い。</p> <p>・タブレットを使用しての授業や単元ごと的小テスト、習熟度別の、人員配置等生徒の学力向上に努めている。</p>
規律ある態度の育成	5	本校の生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B (3.3)	<p>■けじめある態度の育成について</p> <p>○教師が必ず授業の開始と終了を必ず守ることが必要だと思います。また、給食や清掃も必ず見守る体制をつくるようにする。</p> <p>○置き物チェックや制服チェック、チャイム着席など生徒による点検活動について、生徒にその意味や価値について考えさせるようにする。</p>	A (3.8)	<p>・五中の伝統である「挨拶」運動が徹底されている。</p> <p>・保護者アンケートの結果より評価が高い。</p> <p>・あいさつ、美化活動等生徒たちはよく取り組んでいると思う。</p> <p>・制服の乱れ等もみられない。</p> <p>・通動ですれ違う際、生徒が笑顔でいてくれるので気持ちがいい。</p>
	6	学校は、生徒の実態把握に基づき、「規律ある態度」の指導の工夫改善に努めている。	A (3.5)	<p>■基本的な生活習慣の定着について</p> <p>○あいさつや給食、清掃、服装、朝読書等の基本的習慣の定着について、教員の共通理解のもとに積極的に指導していくようにする。指導内容によっては学年や学級指導だけでなく、全校生徒を対象に集会等で徹底するようにする。</p>	A (4.0)	<p>・「規律ある態度」達成目標(生徒質問紙の結果)「礼儀正しく人と接することができる」は埼玉県、朝霞市に比べて高いレベルにある。</p> <p>・生徒と先生の距離感がよく、先生間での情報共有が出来ていて、些細なことでもその都度対応されている。</p> <p>・路上で立ち話をしている生徒がいなくなった。</p>
健康・体力向上	7	本校の生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A (3.4)	<p>■新体力テストの結果は持久走を除いて全学年とも全項目で県平均を下まわっている。</p> <p>○新体力テストの結果は3学年ともに低いが、体育の授業等には意欲的に取り組むことができていて、3年間の伸び率としては低くはなく着実に向上している。また、今年度から午後はジャージに着替えることとなり、多くの生徒がグラウンドに出て遊んでいる。現状を維持できれば良い。</p>	B (3.0)	<p>・新体力テストの結果シートより一部を除いて県平均より劣っている。</p> <p>・休み時間に外で遊ぶかは本人次第なので差はあるが、体を動かしたい生徒は多い様子。</p>
	8	学校は、生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B (3.3)	<p>■体力の向上の手立てについて</p> <p>○週3時間の体育、休日の部活動時間の削減など、学校をあげて時間をとってじっくり取り組まない、根本的な解決にはならない。そのためには、小学校との連携は不可欠である。</p> <p>○五中の生徒は他校の同じ中学生と比べても体格が小さく、それが体力テストの結果に関係している。食育に力をいれていく。スポーツ栄養士などを招き、講演をしてもらうなどして、食べることへの意識を高めていく。</p>	A (3.8)	<p>・「課題と改善策」に関する体力向上部会の取組が明確である。</p> <p>・体を動かしやすい環境作りや食育・小中連携等課題改善に努力している。</p>
保護者・地域との連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B (3.2)	<p>■小中連携や地域との連携について</p> <p>○小中連携推進事業の一つである朝霞三小6年生とその保護者を対象とした新入生ガイダンス継続して実施していきます。</p> <p>○国語の書写指導、社会体験や3年生保育実習、美術鑑賞授業等で地域の方、施設、大学等の連携を継続していきます。</p>	A (3.5)	<p>・校長先生、教頭先生の「熱意、思い」が実感できる。</p> <p>・ふれあいまつり、鳴子はあがるが、保護者、地域と連携して体力の向上につながるイベント的なものがない。</p>
	10	保護者や地域は、学校と協力しあひ、生徒の安全指導、健全育成を推進している。	B (3.3)	<p>■保護者や地域、学校の協力について</p> <p>○コミュニティースクールの実施により学校と保護者、地域の連携は推進されると思います。</p> <p>■地域と連携した安全指導と健全育成について</p> <p>○朝霞三小合同あいさつ運動を継続していきます。</p> <p>○保護者と学校、警察、青少年健全育成市民会議の協力による敷島神社祭礼・彩夏祭パトロールの実施について、今後も継続していきます。</p>	A (3.5)	<p>・保護者の学校評価アンケート結果及びコメントがよい。</p> <p>・浸水被害の時に学校との良好な関係が垣間見られた。</p>

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

()内は、Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満とした全体の数値